

農山漁村地域整備計画 事前評価調書

計画の名称	”亜熱帯の邦” 沖縄の「ゆがふ（豊かで平和な）村づくり」計画			
計画策定主体	沖縄県	対象市町村	27市町村（国頭村、東村、大宜味村、本部町、名護市、恩納村、宜野座村、金武町、伊平屋村、伊是名村、伊江村、うるま市、読谷村、中城村、南城市、八重瀬町、糸満市、粟国村、久米島町、渡嘉敷村、北大東村、南大東村、宮古島市、多良間村、石垣市、竹富町、与那国町）	
計画の期間	平成22年度～平成23年度（2年間）			
計画の目標	<p>《1. 地域の現状》沖縄県は亜熱帯性気候に属し土壌は有機質に乏しく侵食されやすい上、毎年のように台風や干ばつの被害を受ける特殊条件の中、畑作を中心とした農業を展開している。</p> <p>《2. 抱えている課題》ほ場整備、かんがい施設の整備が遅れており農家所得の向上が図られていない、また、農地からの耕土の流出が著しく営農及び、周辺環境に支障をきたしている。また、農業排水処理施設の整備が遅れており、都市部生活環境と格差がある。</p> <p>《3. 取り組むべき対策》機械化、省力化、作物の増収、高収益性作物への転換を図るための優良農地の確保、農用地の保全による優良農地の保全、農地からの赤土の流出を防止し環境に配慮した農地周辺の環境保全、農業集落排水の整備による処理対象人口の向上を図る。</p> <p>《4. それによって達成しようとする目標》「持続的農業の振興」及び「多面的機能を生かした農村の振興」を図ることを目標とする。</p>			
評価指標	①優良農地の確保 約600h a			
	②優良農地の保全 約600h a			
	③農地周辺の環境保全 約700h a			
	④農業集落排水処理対象人口の向上 約6,200人			
対象事業	集落基盤整備事業（基幹水利施設整備型）	6地区	ため池等整備事業	16地区
	集落基盤整備事業（基幹水利施設保全型）	1地区	中山間地域総合整備事業	4地区
	経営体育成基盤整備事業（畑地帯整備型）	11地区	農業集落排水事業	11地区
	経営体育成基盤整備事業（一般型）	1地区	海岸保全施設整備事業	4地区
	水質保全対策事業	32地区	農道整備事業	2地区
	農地保全整備事業	30地区		
			合計	118地区

【評価内容】

評価項目	評価細目	項目別評価
(1) 目標の妥当性	<p>①関連計画との整合性</p> <p>■A：重点施策との関連性が高い。 □B：関連計画との整合性がない。</p> <p>平成20年度から始まった県の全体計画「沖縄振興計画に基づく第3次農林水産業振興計画」の目標「亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備」に掲げられており、関連性が高い。</p>	<p>■A (すべてA)</p> <p>□B (上記以外)</p>
	<p>②地域課題に対する目標設定</p> <p>■A：地域課題に対する明確な目標が設定されている。 □B：地域課題が不明確、又は目標が不適当</p> <p>本県農業・農村では、『ほ場整備、かんがい施設の整備が遅れており農家所得の向上が図られていない、また、農地からの耕土の流出が著しく営農及び、周辺環境に支障をきたしている。また、農業排水処理施設の整備が遅れており、都市部生活環境と格差がある。』などが課題となっている。本計画では、これらの課題に対し明確な目標を掲げている。</p>	<p>■A (すべてA)</p> <p>□B (上記以外)</p>
(2) 整備計画の効果・効率性	<p>①目標と評価指標の整合性</p> <p>■A：評価指標は目標との関連性が高く、計画の効果が適切に評価可能である □B：評価指標について目標との関連性が低い、又は計画の効果が適切に評価できない</p> <p>評価指標は、整備計画の目標、対象事業と整合性が図られている。また、目標数値を明確にした定量的指標としており、中間評価、事後評価が実施可能で適切な指標となっている。</p>	<p>■A (すべてA)</p> <p>□B (上記以外)</p>
	<p>②対象事業の妥当性</p> <p>■A：すべての対象事業が目標達成のために効果的な事業である □B：対象事業が目標達成のための事業として不適切である</p> <p>本計画の対象事業は目標に対し必要な事業であり、一体的に整備することにより、効果的に目標達成を図ることが期待できる。また、事業効果の早期発現が強く求められており、緊急性も高い。</p>	<p>■A (すべてA)</p> <p>□B (上記以外)</p>
(3) 整備計画の実現可能性	<p>①事業執行の環境</p> <p>■A：円滑な事業推進体制が整っている □B：事業推進体制が不十分である</p> <p>県、市町村、地元土地改良区、関係団体等が丸となって円滑な事業推進を図っている。</p>	<p>■A (すべてA)</p> <p>□B (上記以外)</p>
	<p>②地元の熟度</p> <p>■A：対象事業は地元の理解を得たものであり、実施要望が強い □B：対象事業について地元の理解が不十分である</p> <p>対象事業地区は、事業への理解のもと合意形成が図られており、地元の気運も高く、着実な事業実施が期待されている。</p>	<p>■A (すべてA)</p> <p>□B (上記以外)</p>
総合評価	<p>■A：計画の妥当性が高い（すべて「A」の場合） □B：計画の見直しが必要（1項目でも「B」の場合）</p> <p>検証の結果、目標の妥当性、整備計画の効果・効率性、整備計画の実現可能性のいずれについてもA評価であり、計画の妥当性が高いと評価される。</p>	